

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

2024年6月現在

基本情報					
フリガナ 氏名	ツシマ 對馬	カリ 果莉	生年(西暦)	1985年	
氏名(英字)	TSUSHIMA	Kari	メールアドレス	ktsushim(a)mail.doshisha.ac.jp	
学歴	2004年4月 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 入学 2008年3月 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 卒業□ 2009年4月 立命館大学 文学部 人文学科哲学専攻 入学 2011年3月 立命館大学 文学部 人文学科哲学専攻 退学 □ 2011年4月 立命館大学大学院 文学研究科 人文学専攻哲学専修博士課程(前期課程)入学 2013年3月 立命館大学大学院 文学研究科 人文学専攻哲学専修博士課程(前期課程)修了 2013年4月 同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 博士課程(後期課程)入学 2022年3月 同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 博士課程(後期課程)満期退学				
職歴	2016年4月-2018年3月 独立行政法人 日本学術振興会 特別研究員(DC2)□ 2018年4月-2019年3月 神戸学院大学 ハラスメント専門相談員□ 2020年9月-2024年3月 神戸女学院大学 文学部 総合文化学科 非常勤講師□ 2023年9月-2024年3月 近畿大学 文芸学部 文化・歴史学科□ 2024年4月-現在 京都女子大学 法学部 非常勤講師 2024年4月-現在 同志社大学 研究推進開発機構及び社会学部 特別任用助教(有期研究員)				
指導教員	岡野 八代 教授	取得学位	博士(アメリカ研究)	専修外国語・ 読解可能な外国 語	英語
研究活動					
研究分野	政治思想・フェミニズム理論				
科研究分類による研究分野	哲学・倫理学				
研究テーマ	フェミニスト・ケア倫理とハンナ・アーレント思想				
研究概要	ハンナ・アーレントの思想と、ケアやフェミニズムはあまり相性が良くないものとされてきましたが、近年は、フェミニスト理論家がアーレント思想をケア論の文脈で参照し始めています。ケアを論じる上で、これまでケア関係やケア労働の大部分をになってきた女性たちの苦境と、人種・エスニシティ/階級/セクシュアリティ/障がいという観点から弱い立場に置かれてきた人たちへの差別や抑圧、搾取を、フェミニズム理論を援用することで、見つめ直すことが必要です。その上で、アーレント思想から着想を得ながら、ケアに関わる人たちが、現在の社会において十全にパワーを発揮し、政治経済文化に変革をもたらす理論的な道筋を提示します。				
研究業績	論文:「ケアする人と世界疎外」、『同志社グローバル・スタディーズ』Vol.11(2021年3月)、pp. 195-212。など 翻訳:ジョアン・トロント著(岡野八代監訳)『ケアリング・デモクラシー』勁草書房(3章担当)□ 発表:"A Precarity of Need Interpretation for Dependency Workers in Japan: Considered through Nancy Fraser and Eva Feder Kittay", Care Ethics Research Consortium (CERC) Conference (September 2018), Portland State University, Oregon, U.S. など				
所属学会	アーレント研究会、日本女性学会、ジェンダー法学会				
キャリア関連					
志望進路	教員(大学・高等学校)、研究員				
進路					
自己PR	社会福祉学部時代から、ケア実践と思想の両面に興味をもって研究してきました。日常生活における暴力や抑圧・差別から、戦争や経済格差や危機、気候変動に至るまで、社会の歪は、つねに社会の中で弱い立場に置かれた人とその人たちのケアを担っている人たちに、重くのしかかります。ケア実践の感覚を磨くことのできる場所に身を置きながら、ケアの思想や理論の深化に貢献します。				
取得資格等	社会福祉士、介護福祉士				

※メールアドレスの(a)は@を表しています